

右の序を以て打合せ参考に資すべき事項左の如し

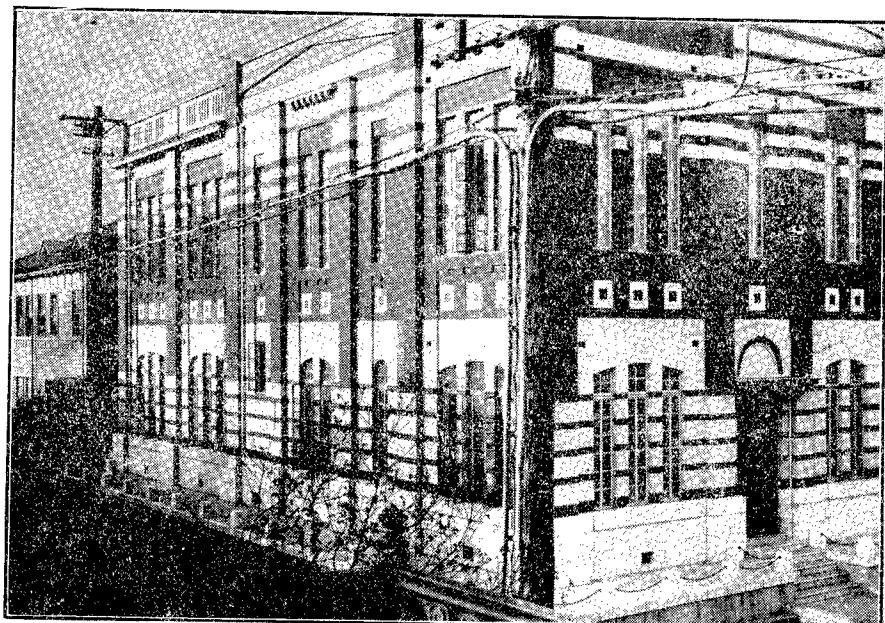
- 一、現波通信の符號統一に関する件
- 二、電燈電力線より受くる通信障害及之が防禦に関する件
- 三、海底線定期試験に関する件
- 四、試験執行地に於ける試験装置に関する件
- 五、海底線保安装置に関する件
- 六、電池保守に関する件
- 七、試験盤及切替盤に関する件
- 八、電信用レクランシー電池の成績に関する件
- 九、線路障害報告處理方法の件
- 一〇、線條及回線の定期試験に関する件

小石川電話分局開始

番町局及下谷局に於ける加入者數は交換機の全容量に達し最早收容し得ざる状態に至りたるを以て此等二局に於ける所屬加入者の一部を分割收容するため新電話分局設置の必要を生じ小石川區柳町に局舎の位置を選定し本郷區の内十三ヶ町小石川區の内四十ヶ町外に王子町板橋町岩淵町及瀧野川村の一部の加入者總數一千四百十四名を收容し五月十三日共同電池式を以て交換業務を開始す左に其の設備の概要を摘要せん

因に記す東京市内には今回新設の小石川分局を合せ交換局數十局に達し總加入者數四萬五千三百八十三名となれり。

局舎。敷地は六百四十二坪を有し本館は鐵骨鐵筋コンクリート二階建電力室、暖房機關室は木骨鐵網コンクリート平家なり附屬舎は木造二階建と平家として建坪總數五百八十餘坪なり昨年八月工を起し本年三月竣工す工費十二萬圓餘を要せしものなり本館建築上の特色は基礎



小石川分局

工事にペデスタル、パイルを使用し又階上床は階下との防火を完全にし且つ建築を堅固ならしめんがため鐵筋コンクリートとなし屋根は平なる陸屋根とす窓は防火戸を廢し鐵組子とし窓硝子は鐵網入のものを使用す之れ火災等の場合高熱に遇ふも硝子破損し落下せざる様なしたるものなり又交換室の採光換氣、交換手休憩室、洗面所の設備等に至りては特に注意を拂ひたるものなり

交換機械設備。本配線盤は階下試験室に装置す其の容量縦架は一列二百十回線の保安装置を取付け得べきもの五十八行一萬二千百八十回線横架は一段八百回線の試験彈器を装置し得べきもの十三段一萬四百回線にして目下の實装は縦架六千九十回線横架三千九百回線なりジャムバー線はエナメル心線の上に毛糸を巻き更に編組を施したもの要用

ふ

中間配線盤は本配線盤の隣りに装置せられ其の容量縦架は一列二百四十回線のもの四十一列九千八百四十回線横架は一段八百回線のもの十三段一萬四百回線にして目下の實裝は縦横架共三千回線なり

繼電器架は中間配線盤と相對し之と聯結支持せられ三架より成り二架は加入者線用繼電器を取付くるものにして其の容量一萬八十個目下の實裝は二千三十個とす他の一架は中繼用繼電器及抵抗を裝置するものにして容量繼電器五千五百六十個抵抗一千百二十個にして目下の實裝は中繼坐席十一坐席及出中繼用分にして繼電器二千五百八十個抵抗三百二十八個なり

試験臺は本配線盤の前面試験に便利なる位置に装置せられ各種の障害は電壓計指針の傾斜により知り得べきものなり一臺にして二座席より成り各席には電壓計一個試験紐三本應答紐二本直通接續紐一對障害試験線二十回線を有す

可鎔片盤付中繼線輪架は電力室に近く装置し電池よりの導線には百萬サー・キユラーミルの撚編組ゴム線を使用し電壓の降下を少なからしめ漏話を生ぜざらしむ本架は二臺あり一は加入者交換機用にして容量四十五坐席分目下の實裝十七坐席分なり一は中繼交換機用にして容量二十坐席分目下の實裝十一坐席分なり此の外別に可鎔片盤を裝置し加入者繼電器に供給する電池線其他ケーブルに依らざる電池線の配線盤に使用す

加入者交換機は標準型六臺を裝置し始坐席は略試験坐席となし交換手をして試験を行はしむ各臺三坐席八パネルにして九十二號型ジャックを使用す複式ジャックの容量八千應答ジャック容量六百四十回線出中繼ジャックの容量千四百四十回線にして目下の實裝は各臺複式ジャ

ツク千六百應答ジャック及ラムプ三百六十中繼ジャック三百四十回線なり接續紐は各席容量十八對實裝十六對とす目下一加入者一日の平均呼數は十八にして一交換手平均受持加入者數は百五名なり

中繼交換機は標準型六臺を裝置し首端に二パネルの補助臺を置く第一臺は市外中繼用にして第二臺以下は市内中繼用なり各臺二坐席六パネルにして九十二號型ジャックを使用す複式ジャックの容量九千中繼ジャック容量二百四十にして目下の實裝は各臺複式ジャック千六百中繼ジャック四十話中信號及障害信號ジャック十個なり中繼接續紐は各席容量四十實裝三十とす

交換室には尙此の外交換監督臺、案内臺等を設備す

電力装置。蓄電池は十一個一組を裝置す英國チュードル會社製にして電槽は J₄ 型の極板五十七枚を容るゝに適し全容量四千六十一アムペア時なり目下極板二十九枚を實裝し二千三十一アムペア時を有す

充電用電動發電機は前記の蓄電池を充電しつゝ交換機に電流を供給する方式に適する様特種の構造を有し從來は米國ウエスタン電氣會社製のものを使用し來りしも研究の結果内地明電舎大阪電燈株式會社等に於て製造し得らるゝに至りたるものにして明電舎製二臺を裝置す一を現用とし東京電燈株式會社より電力の供給を受け他の一は豫備とし東京市營電力を使用す電動機に供給する電源は何れも三相交流二百ヴァオルトにして發電機は電動機軸に可撓絕緣聯結法にて聯結せられ一分間九百五十回轉をなし直流三十ヴァオルト四百アムペアを生ずるものなり

信號用發電機は從來米國ウエスタン電氣會社製なりしも前記充電用電動發電機と同様内地に於て製造し得られ大阪電燈株式會社製二臺を裝置す一分間九百五十回轉をなし交流七十五ヴァオルト四アムペアを

生ず一臺は現用にして東京電燈株式會社より電力の供給を受くる三相誘導電動機に直結せられ一臺は豫備にして蓄電池十一個の直流電源に依り運轉する發電動機なり何れも發電子軸には電流斷續器を取付け各種の信號に使用す

乾燥空氣送入機は從來米國バーレー、コムブレッサー會社製のものを使用し來りしも今回は内地石川島造船所製にして三相誘導電動機により三馬力半の空氣壓搾機を運轉し百磅の壓力に高むることを得べく壓搾せられたる空氣は鹽化カルシューム筒の乾燥裝置を経て地下ケーブルに送らるゝものとす

函樽間市外電話の開通

北海道に於ける多年の懸案たりし函樽間市外電話回線は本年四月末工事の竣工を告げたるを以て五月一日より一般の通話を開始せり開始以後に於ける通話數は豫想以上に多く一日平均約百通話時を算するの状況にして通話の成績も亦良好なりと云ふ而して本新設線路は將來旭川より釧路に出で尙進んでは根室に達する北海道に於ける電話幹線路たるべき重要線路にして電柱間の距離は二十四間平均とし長二十六尺末口六寸五分の不注入假柱を使用す今回新設のものは二百磅硬銅線一回線にして函樽間の距離約六十三里あり内線路新設五十八里添架五里大正四年五年の兩年度に亘る工事にして一日も早く公衆の宿望を満足せしめんが爲め非常なる奮闘努力をなし積雪寒氣と戰ひ銳意工事の進捗を圖りたる結果茲に開通を見るに至れり

北海道は内地と異なり樹木多く之が伐採には多數の經費と多大なる労力とを要ししかも十一月より翌年二月に至る四ヶ月間は降雪尤も烈しく此の季節に入れば建柱孔の如きは掘るに従ひて埋り測量杭の如き又は小分配を爲したる電柱の如き皆埋没せられ其所在地を發見するば